

令和6年9月三田市議会定例会(第377回)一般質問発言通告一覧

(第2日・9月4日 個人質問)

6番 井上 昭吾 <一問一答>

1 生成AIの活用について

(1) 想像を超えるスピードでAIの技術革新が進行する現在、AI活用の情報を収集し先取りする体制づくりが急務だと考えますが、市の見解をお聞きます。

(ア) 令和5年度市内に53名で立ち上がったコミュニティの現状と、現在のAI活用人材の育成に向けた市内研修体制、学習支援体制がどのようなものかお聞きます。

(イ) 生成AIユースケース(活用事例)やプロンプトフォーマット(質問書式)整備の進捗状況と現時点で生成AIをどのような用途で活用しているのかお聞きます。

(ウ) 来たるべき汎用AIの時代に備えてどのような準備を進めるのですか。例えば包括連携協定を締結する関西学院大学のAI活用人材育成プログラム等の受講支援などを検討すべきではないかと思いますが、市の考えをお聞きます。

2 小学校での教科担任制について

(1) 教科担任制は、教員一人当たりの担当時間数の軽減や授業準備の効率化による負担軽減といった教員の働き方改革に繋がり、国も各地域の実態に応じた導入を推進する側面もありますが、三田市の小学校での教科担任制導入の現状と今後の進め方について、教育委員会の考えをお聞きます。

3 姉妹都市交流のビジョンについて

(1) 姉妹都市交流について、市としてのPRが不足していると感じます。姉妹都市交流を継続し深めていく方針ならば、明確なビジョンを描き、目的を定めた事業を実施していくべきです。今後、姉妹都市交流をどのように進めようとしているのか、市の考えをお聞きます。

4 三田の歴史を活かすための政策ビジョンについて

(1) 三田はメジャー級の教育者や政治家とのつながりを豊富に持つ歴史の宝庫です。三田市が持つ特筆すべき歴史を活かすことは、郷土への誇りにもつながる大切なことと思いますが、三田の歴史を活かすための政策ビジョンをお聞きます。

2番 林 政徳 <一問一答>

1 三田市における急性期医療の確保について

(1) 三田市の医師確保の取組について。

(2) 現在の三田市民病院における救急外来機能について。

(3) 再編統合に向けた三田市の病床機能と配分について。

2 三田市の認知症対策について

(1) 三田市の認知症患者への市の取組について。

(2) 三田市の認知症患者への代替療法の活用について。

12番 長尾 明憲 <一問一答>

1 子ども医療費の無料化について

(1) 厚生労働省が示す「窓口負担」を求める仕組みについて。

(2) 三田市における子ども医療費無料化の考え方について。

- 2 市長の公用車不正使用と公益目的通報および市民からの公開質問状について
(1) 市長の公用車不正使用と公益目的通報および市民からの公開質問状について。

15番 関口 正人 <一問一答>

- 1 市長の市政運営について
(1) 新たなまちの可能性を創出し、将来にわたり「元気な三田」を創り上げることに對してのこれまでの成果と今後の取組みのポイントは。
(2) 市長就任後、職員が元気になってきた、夢を語れているかと感じているか。元気な職員づくりのためにどのような方針で取り組んでいくのか。
(3) 財政において行革の取組みが重要と考えるに至ったのか。行革についての方針、計画は。
- 2 三田市民病院の跡地活用と再編統合について
(1) 現三田市民病院の土地・建物の評価額、改修コストの想定、土地・建物の取扱いにおけるその他の可能性とは何か。売却価格、賃借料は今後どのように決定し、いつ公表する計画か。
(2) 新統合病院の病床数はいつ決まるのか。その後に跡地病院の回復期の病床数が決まるのか。あるいは、回復期病院側からの提案・交渉があり得るのか。回復期機能に誘致する病院によっては、病床数が増減する可能性があるのか。
- 3 三田市におけるエディブルパークの取組みの可能性について
(1) 三田市でも神戸市におけるエディブルパークの取組みを参考に、公園や公共用地の空きスペースに農園をつくり、コミュニティーを活性化する取組みを推進すべきと考えるが、市の所見は。
- 4 三田市の平均寿命と健康寿命、高齢者の健康寿命の延伸策について
(1) 三田市の平均寿命と健康寿命の差は男性が1.30年、女性が3.03年と認識しているのか。厚生労働省の令和元年度値では平均寿命と健康寿命の差が男性で約9年、女性で約12年とあるがこの数値はどのように理解すればいいのか。算定根拠や意味が異なるのか。
(2) 特に高齢者を対象とした健康寿命の延伸策のポイントは。

18番 檜田 充 <一問一答>

- 1 「こどもを核としたまちづくり」について
(1) 「三田市財政構造改善」で歳入増加・歳出削減の観点から見直すとのことだが、「こどもを核としたまちづくり」の中核をなす「中学校給食の無償化」と「高校生世代までの医療費無償化」にかかる財源は捻出できるのか。
(2) 学校給費や医療費の無償化は各地方自治体が実施することなのか。本来は国が考えるべき政策ではないのか。
- 2 教育環境の整備について
(1) 学校の電話に録音機能をつけてはどうか。
(2) 施設設備の充実について。
(3) 人員不足について。
(4) 学校の再編統合について。
(5) 大阪・関西万博への対応について。
- 3 神姫バスとの担い手確保の連携協定について
(1) 運転手確保に向けての具体的方策は。
(2) 参加団体を増やす取組みは。

4 不動産の相続登記の周知について

- (1) 本年4月1日より相続登記が義務化されたが、市として市民への周知はどのように取り組まれているか。

5番 福田 佳則 <一問一答>

1 地域活動支援への取組について

- (1) 地縁団体の抱える課題と対応について。
- (2) 地域内の各種団体との連携及び運営について。

2 市の課題解決に向けた民間人材の活用について

- (1) 公民連携推進事業の進捗状況及び今後の展望について。
- (2) 専門スキルを持った民間人材の活用について。

3 高齢者支援の充実に向けて

- (1) 高齢者の生きがいづくりへの取組について。
- (2) 認知症に関する今後の普及啓発について。

22番 厚地 弘行 <一問一答>

1 子育て無償化政策は人口増と少子化対策になるか

- (1) 三田市、日本全体で出生数が減り続けているが、理由は何と考えているか。
- (2) 市長の求める無償化政策が実施されれば、どの程度の子供の増加及び人口の増加を期待できるか。
- (3) 不妊の検査、治療などは経済的な負担も大きいですが、市の独自で助成拡大、無償化を検討してはどうか。

2 三田にテーマパークを創造してはどうか

- (1) 三田市の活性化のために、また三田に人を惹きつけるために若い人や家族で楽しめるテーマパークを創造してはどうか。淡路市、飯能市、多摩市など小さなまちでも魅力ある施設ができている。

3 つつじが丘の公共施設用地の活用について

- (1) つつじが丘の中央公園に接する市の公共施設用地が、何も計画されず放置されている。雑草の繁る空き地となったままである。公園での夏祭りでは猛暑による熱中症で倒れる事象もあり、屋内の休憩所、クールスポットの設置を検討してはどうか。

4 三田の都市開発と展望について

- (1) 三田の近代史におけるニュータウン開発の意義は大きかったと思うが、課題とされた高齢化、インフラの維持と財政課題についての市の見解を聞く。
- (2) 人口減少、特に少子化の問題とIT化という急激な社会の変化などを見据え、未来の三田市の進むべき方向をどのように捉えているか。